学校番号	１０４

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	異文化研究	2	1	English Firsthand 1 Fifth Edition (Pearson)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

異文化研究はネイティブ教員と日本人教員による授業で、少人数でスピーキングとリスニングを中心に授業を行います。ペアワーク、グループワークなどのアウトプットだけでなく、エッセイライティングからスピーチ、プレゼンテーションも取り入れ 2 年生の授業につなげていきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を１文聞き取った後、リピートすることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の周りのことについて聞き取ることができる。	・待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、簡単な語句や文を用いて、自分のことや他人のことを紹介することができる。 ・前もって準備した上で、身近なトピックや出来事について自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対話、講義、エッセイなどを通じて言語や文化についての知識と理解を身に付ける。CEFR A2～B2 程度の短い文章を読んだり聞いたりして概要を理解することができる。	日常的な会話だけでなく、複雑な対話や講義を聞いて、概要を理解することができる。	国際的なコミュニケーションにおいて通用するような、積極的な姿勢で活動に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Unit 1 Unit 2	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	Unit3 Unit4	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトをとるなど、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
2学期	Unit5 Unit6	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワー

			c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	クでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Unit7 Unit8 Unit9	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			
3学期	Unit 10 Unit 11 Unit 12	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Real Stories の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Vocabulary Building, Language Check の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとに出される Essay において、授業で習得した内容を踏まえながら自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度